

## 特色ある取り組み

### 矢留小と白秋先生

我が矢留小学校は、詩聖：北原白秋先生の母校です。

北原白秋先生は、明治18年に柳川（沖端）に生まれ、「邪宗門」「思ひ出」など数多くの優れた作品を残しています。

私たちは、北原白秋先生の「母校たる矢留校」としての誇りと伝統を築き続けるために、特色ある教育資源（白秋先生の詩や童謡、校区の自然環境等）を生かした教育活動を創造的に継続しています。

### 1 学校の設備等

#### (1) 白秋コーナー

矢留小学校の児童玄関を入った正面に、白秋先生の旅立ちの軌跡がわかる数々の写真や年譜、書や絵などの資料を展示している「白秋コーナー」があります。



#### 寄贈者ご芳名

- 「若かりし日の白秋先生肖像画」  
全日本肖像美術協会会員 吉開繁美 氏（矢留小学校卒）
- 水墨画（旧校舎、新校舎）  
藤吉 学 氏
- 「この道」（書）  
日高 守 氏

(2) 白秋の詩や童謡に出てくる木々



運動場に面した花壇には、白秋先生の詩や童謡にちなんだ木を植えています。それぞれの木には、名前のプレートと、その木が登場する詩や童謡が書かれた看板をつけています。

(3) 水くり清兵衛（オヤニラミ）



児童玄関正面横にて飼っています。

「水郷柳河こそは、我が生まれ里である。この水の柳河こそは、我が詩歌の母体である」で始まる『水の構図』（昭和17年10月6日 病の床にて 白秋識す）の中で、「何を 希望はうとするのであろうか。ああ、柳河の雲よ水よ風よ、水くり清兵衛よ」と、望郷の 思いで紹介されています。

## 2 学校行事で

### (1) 校内白秋祭

柳川市を挙げて行う白秋祭（11月1日～3日）のころ、矢留小学校でもイベントを行います。それぞれの学年が、白秋先生の作詞した詩や童謡を歌ったり音読したり、図書委員会は白秋先生の一生を紙芝居やパワーポイントで発表したりします。今年度も、3つの学年より音読も行われました。白秋献詩に入選した作品の朗読もあります。みんなの気持ちが一つになり、白秋先生に届くようにと、一生懸命に発表に取り組んでいます。

第1回目の校内白秋祭は、昭和47年に見られますが、そのルーツはもっと遡ります。戦後の混迷の中で、「白秋先生を偲び、郷土の誇りとして讃え、豊かな文化を受け継ぐ烽火」を学校から挙げようと、白秋先生の命日にあたる11月2日、矢留小学校体育館で開催しています。

### 校内白秋祭のようす



(写真左から)

- 白秋献詩入賞者による詩の音読
- 音楽委員会の指揮で全校合唱
- 学年から白秋先生の童謡を歌唱



- 図書委員会の調査の発表
- 保護者や地域の方も大勢参加

## (2) 運動会

運動会では、6年生児童全員で白秋先生作詞の「校歌」「待ちぼうけ」等の曲をマーチング演奏します。

### 3 総合的な学習の時間で

本校では、北原白秋先生の詩や童謡、白秋先生の愛した柳川の堀割や文化などを素材にした総合的な学習を行っています。「ようこそ せんばい！白秋先生」（3年）、「ひきつごう！白秋先生の愛した童謡・詩」（4年）、「伝統を受け継ぐ！白秋マーチングに学ぶ」（5年）、「とどけ！白秋先生に」（6年）を課題に、情報収集（専門家からの聞き取り、現地での取材等）や表現活動（ポスターセッション、小論文）を展開しています。

白秋生家にて



- 白秋先生の詩の背景を探る3年生

### 4 地域行事の中で

#### (1) 白秋祭式典

白秋先生が亡くなった11月2日には、白秋先生を偲んで柳川市主催の白秋祭式典（学校横の白秋詩碑苑にて）が行われます。この式典には、矢留小学校の6年生全児童も参加します。

#### (2) 白秋生誕祭

白秋先生が生まれた1月25日には、白秋先生の誕生を祝い白秋会主催の「白秋生誕祭」が行われます。このお祭りでは、矢留小学校5年生児童全員がマーチング演奏や歌を披露します。白秋生家から出発し、水天宮の堀割を一周し白秋詩碑苑までを鼓笛演奏しながらパレードを行います。白秋詩碑苑では、白秋先生の作った詩を歌います。他の学年は、沿道での声援をおくります。

令和4年は、北原白秋先生が生まれて137年目の年でした。

コロナ禍のため、沖端沿道ではなく、学校の運動場で5年生がパレードを行い、全校児童で白秋先生の生誕をお祝いしました。



## 白秋生誕祭



### 5 朝の活動などで

本校では、リズムある、子供心を輝く言葉で表した白秋先生の詩や童謡を大きな声を出して読み、大いに親しんで欲しいと願って、音読詩集『ムツゴロの詩』（全50編、平成19年11月2日発行）を編集しました。

また、平成25年度からは、心に響く素読集「やながわ」（柳川市教育委員会発行）も活用しています。子どもたちは、朝の会や帰りの会、家庭で音読したり暗唱したりしています。



音読詩集『ムツゴロの詩』

（表紙の題字と絵は、北原悌二郎画伯 作）